

令和6年度就職氷河期世代の活躍支援に向けた鹿児島県の主な取り組み

就職氷河期世代就労促進・定着支援事業の実施 (長期無業状態者を中心とした支援の実施)

(1) 相談体制の充実

- 相談から就労までの支援を一貫して行う就職氷河期世代専任の職員を鹿児島市と鹿屋市に設置。

相談件数（延べ数）	第二ステージ（R5～R6年度） KPI 2,500件
R 6年度計 第二ステージ計（R 5, 6） 【R 2年度からの累計】	1,219件 2,235件（達成割合89.4%） 【4,903件】
(R6年度内訳)	
・来所相談	616件
・電話相談	374件
・訪問相談	192件
・オンライン相談	37件

(2) 就職氷河期世代専任職員による一貫した支援の実施

- キャリアコンサルタント等による専門的な相談
- 職業適性検査、面接対応等の就労準備サポート
- 職場見学→（カントリーワーク）→就労体験
- 求職活動への支援、就労後のフォローアップ

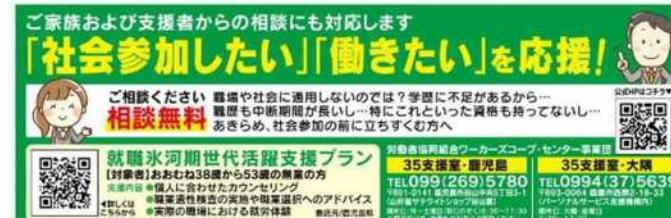
求職活動支援件数（延べ数）	第二ステージ（R5～R6年度） KPI 142件
R 6年度計 第二ステージ計（R 5, 6） 【R 2年度からの累計】	110件 232件（達成割163.4%） 【456件】
(R6年度内訳)	
・職業・心理適性検査	15件
・職場見学・就労体験	35件
・企業への応募	60件

(3) 進路決定の状況

- 就労後は定期的に相談者のフォローアップを行い、就労定着を図る。

就業者数（延べ数）	第二ステージ（R5～R6年度） KPI 56人
R 6年度計 第二ステージ計（R 5, 6） 【R 2年度からの累計】	34人（ほか訓練受講2人） 68人（達成割合121.4%）ほか訓練受講4人 【146人（ほか訓練受講7人）】

※窓口周知の取組



南日本リビング新聞（4/27, 7/20, 10/19, 11/16, 12/14, 2/15掲載）



かごしま市民のひろば（令和7年2月号掲載）